

科目区分	専門基礎分野			科目番号	0304	曜日時間	月曜日
授業科目	解剖生理学IV						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1 年次後期	授業形態	講義
担当教員	菱川 善隆 ・ 専任教員						
授業目的	「恒常性維持の調節」「子どもを産み育む」の人体の正常な形態と構造、およびそれぞれの役割とはたらきについて学ぶ。						
授業目標	<p>1. 人間の身体を守っている皮膚の構造とはたらきについて学び、日常生活行動の「恒常性維持の調節」、身体のメカニズムと日常生活における役割について理解する。</p> <p>2. 次の世代の個体を生み出して種を維持する「子どもを産み育む」身体機能として、生殖の構造とはたらきについて学び、メカニズムとその役割について理解する。</p>						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	<p>「恒常性維持の調節」の機能（内臓機能の調節）</p> <p>A 自律神経による調節</p> <p>B 内分泌系による調節</p> <p>C 全身の内分泌腺と内分泌細胞</p> <p>D ホルモン分泌の調節</p> <p>E ホルモンによる調節の実際</p> <p>「子どもを産み育む」（生殖・発生と老化）</p> <p>A 男性生殖器</p> <p>B 女性生殖器</p> <p>C 受精と胎児の発生</p> <p>D 成長と老化</p> <p>体表からみた人体の構造</p> <p>身体機能と日常生活行動</p>	講義	30	菱川 善隆 ・ 専任教員		
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト参考図書	坂井 建雄ほか：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学【電子版】，医学書院 坂井 建雄ほか：解剖生理学ワークブック「系統看護学講座」準拠 佐藤達夫著：からだの地図帳，講談社						
実務歴有	医師						
講義への反映	臨床経験を活かし、解剖学を教授する。						
備考	基礎看護技術VIと連動させ学習する。（診療の補助・検査）						